



星が丘中学校だより

令和5年度スローガン 「自主・創造 そしてやり抜く心」

第10号

令和6年1月26日
発行責任者 小倉克則



上記QRコードより、「星が丘中学校」ホームページもご覧ください。

新年を迎えて

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

学校は、14日間の冬休みが終わり、1月9日から再開しました。幸い、今のところ、インフルエンザの流行もなく、生徒たちは、真冬の寒さに負けず元気に登校しています。

さて、新しい年が始まるにあたり、子供たちに次の3つの話をしました。

1. 1年の総まとめの時期

- この時期は、1年の総まとめの時期である。
- 今、学習していることでわからないことはないか。
- 委員会活動や部活動は計画通りに進んでいるか。自分の目標は達成できそうか。
- クラスの友達と仲良くしてるか。意地悪なことを言ったり、嫌な思いをさせていないか。
- 自分を見つめなおし、やり残したこと、やり足りないことがあったら、この3か月のうちに、解決してほしい。



2. 次への助走が始まる時期

- この時期は、次の学年の0学期とも呼ばれる。
- 幅跳びも、高跳びも、よい助走があってこそ、遠く高く跳べる。
- 3年生は、義務教育を終え、自分で選択した人生を歩き始めるための大切な3か月である。4月以降の生活を見据え、最後までしっかり力をつけて、星中を飛び立ってほしい。
- 2年生は、自分の将来や3年生に向けての助走が始まっている。いよいよ最上級生。今後、星中の顔となり、星中を引っ張ってってくれることを期待している。
- 1年生は、もうすぐ後輩を迎える。自分のことだけでなく、周囲のことまで気遣い、手本となる姿を見せられるようになってほしい。



3. 跳べなくなるノミ

- イヌなどに寄生しているノミは、跳躍力が非常に優れており、1m以上ジャンプする能力がある。
- しかし、瓶などに入れて蓋をすると、次第にその蓋の高さまでしか跳べなくなる。やがて、蓋をとっても、その高さ以上には跳べず、瓶の外に出ることができなくなる。
- これは、ノミが、自分で自分の限界を作ってしまう状態である。
- つまり、能力はあるのに、環境によって、その能力を十分に発揮できなくなっているわけである。
- 人間も同じで、過去の経験や思い込みが、知らず知らずのうちに自分自身の能力を制限することになっているかもしれない。場合によっては、私は、ここまでやればいんだと、勝手に、自分の限界を低く設定してしまっているかもしれない。
- この跳べなくなったノミだが、本来の能力をもっている仲間、つまり1m以上ジャンプできるノミを見せると、自分の力を思い出し、再び高く跳べるようになるそうである。
- 皆さんには、この一年でいろんな経験を通して、視野や見聞を広め、これまで以上に高く跳べるように願っている。

受験シーズン到来

1月4日（木）の宇都宮短期大学附属高校を皮切りに、私立高校の第1回の入学試験が行われ、いよいよ、受験シーズンが始まりました。

本校の生徒たちの多くも受験し、これまでの学習の成果を発揮しているところです。

この後、私立高校の第2回・第3回入学試験、2月には県立高校の特色選抜試験、3月の県立高校一般入試と続きます。

3年生には、体調管理に十分気をつけて、持っている力のすべてを出し切れるよう頑張してほしいと思います。そして、星中の3年生全員が、希望する進路に進めることを、心から願っています。



小学6年生の進学先中学校訪問

19日（金）、この4月から本校に進学予定の小学6年生約230名が、「進学先中学校訪問」ということで訪れてくれました。この行事は、「小学校6年生が、進学先中学校の授業参観や部活動見学などを通して進学への期待を高めるとともに、中学校の学習や生活についての説明を聞くことで、進学前の不安解消を図る。」ことを目的に、市内一斉に行われているものです。

本校では、まず、生徒会の役員が中心となり、日頃の学校生活のことや、授業のこと、部活動のことなどをスライドを用いてわかりやすく説明してくれました。聞いていた小学生は興味津々で、中学生の質問に対し、手を挙げて答えるなど、楽しい時間になりました。

続いて行った授業参観では、主に、中1、中2の授業を見学しました。小学生からは、「やっぱりちょっと難しそう」とか「みんな体が大きくて、教室が狭く感じる」などの感想が聞こえてきました。

この行事を通して、特に中学1年生は、後輩が入ってくる喜びを感じたと思いますし、それと同時に、先輩になる自覚や責任感も感じたのではないかと思います。これを機会に、さらなる成長を楽しみにしています。



学校保健・学校給食委員会

25日（木）、今年度の学校保健・給食委員会を開催しました。この会は、

- ・ 本校生徒・職員の健康を保持増進するために必要な保健教育について、協議し、活動の推進を図ること
- ・ 学校給食のより円滑な運営及び充実・改善を図ることを、目的としています。

会では、保健、給食に関する本校での取組や生徒会の保健委員会、給食委員会による取組の発表を行った後、保護者の皆様からの質問に対して、学校医等の先生方から、ご回答いただくという形でご講話を賜りました。

学校医等の先生方からのご指導・ご助言については、今後の取組に反映させ、本校がより安全・安心な学校になるよう努めて参ります。

【主なご質問及びご指導・ご助言】

- ① 感染症の疑いがある場合の受診のタイミングは？
→ インフルエンザは発熱後すぐに検査をしても、正しい判定が出ないので、8時間程度様子を見てから受診するといひ。
- ② 肥満は、食生活が要因か？
→ 肥満の要因はいくつかあるが、主要因はやはり食生活である。心配な場合は栄養指導が有効である。
- ③ オーバードーズの要因は？
→ 患者の約73%が、ひどい精神状態から解放されたいという回答である。
- ④ 市販薬の飲み合わせの注意点は？
→ 特に気にしなくて大丈夫である。



2月の主な行事予定

2日(金) スキー教室（2年）（～3日）	13日(火) 性といのちの健康教育（1年）
5日(月) 代休（2年）	14日(水) 登校指導A、あいさつ運動B、生徒会集会
7日(水) 特色選抜入試（～8日）	15日(木) 学年末テスト（1,2年）、専門委員会・中央委員会
8日(木) 立志式、臨時PTA役員会	20日(火) 県立高校一般入試出願（～21日）
9日(金) 実力テスト⑥（3年）、地域協議会③	22日(木) 3年生を送る会
10日(土) テスト前部活動中止（～14日）	26日(月) 県立出願変更、フレックス出願（～27日）